

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社  
 コード番号 9041 URL <http://www.kintetsu.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 泉川 邦充  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 大 名

TEL 06-6775-3465

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	219,166	6.1	13,006	90.6	9,631	182.1	4,763	125.9
24年3月期第1四半期	206,568	△7.1	6,824	△32.6	3,413	△40.6	2,108	△32.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 6,128百万円 (174.5%) 24年3月期第1四半期 2,232百万円 (△26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.80	2.70
24年3月期第1四半期	1.24	1.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,844,433	190,455	9.7
24年3月期	1,839,572	192,338	9.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 178,101百万円 24年3月期 180,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	450,000	1.2	19,000	14.3	11,500	14.0	6,500	—	3.81
通期	945,000	0.2	46,000	14.4	31,000	14.1	20,000	130.8	11.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 四半期連結財務諸表規則第10条の5に該当するものであります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	1,711,120,616 株	24年3月期	1,711,120,616 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,317,408 株	24年3月期	7,305,772 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	1,703,805,796 株	24年3月期1Q	1,703,648,663 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
平成24年度第1四半期 決算補足資料 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、個人消費や設備投資は東日本大震災からの復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあり、また、景気の先行きについても、欧州政府債務危機や電力供給の制約等による下振れリスクがあるものの、徐々に持ち直していくものと思われま

す。このような状況のなか、当社グループの第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、営業収益は震災発生後の出控えの反動増から、運輸業、ホテル・レジャー業で増収となりましたため、流通業における不採算店舗の閉鎖等による減収を差し引き、前年同期に比し、6.1%増の219,166百万円となりました。

次に利益面におきましては、運輸業、ホテル・レジャー業が増収により損益が改善しましたため、営業利益は前年同期に比し、90.6%増の13,006百万円となり、営業外損益で、営業外収益は持分法投資利益が減少し、営業外費用は支払利息が金利低下により減少しましたため、経常利益は前年同期に比し182.1%増の9,631百万円となりました。特別損益で、特別利益は、工事負担金等受入額が増加しましたため、前年同期に比し802百万円増加し、特別損失は、工事負担金等圧縮額が増加したほか、減損損失を計上しましたため、前年同期に比し1,577百万円増加し、法人税等、少数株主利益を控除した四半期純利益では、前年同期に比し125.9%増の、4,763百万円となりました。

各報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①運輸

##### (A) 概要

鉄軌道部門における東日本大震災発生後の出控えの反動増や、前年6月の高速道路料金休日上限千円制度廃止による増収等により、運輸業全体の営業収益は前年同期に比し2.2%増の53,828百万円となり、営業利益は、鉄軌道部門の増収により、前年同期に比し16.6%増の9,713百万円となりました。

##### (B) 営業成績

###### a. 当社の鉄軌道事業運輸成績表

種 別		単 位	当第1四半期連結累計期間	
			(平成24年4月～平成24年6月)	前年同期比(%)
旅客人員	定 期	千人	90,779	△1.6
	定期外	千人	57,168	2.5
	計	千人	147,947	△0.0
旅客収入	定 期	百万円	12,442	△2.0
	定期外	百万円	24,391	3.5
	計	百万円	36,833	1.6

###### b. グループの営業成績

業 種	単 位	当第1四半期連結累計期間	
		(平成24年4月～平成24年6月)	前年同期比(%)
鉄軌道事業	百万円	39,062	1.6
バス事業	百万円	8,535	△1.1
タクシー業	百万円	2,787	2.4
交通広告業	百万円	1,720	5.3
鉄道施設整備業	百万円	7,941	16.4
海運業	百万円	428	12.3
レンタカー業	百万円	775	1.7
消去	百万円	△7,422	—
営業収益計	百万円	53,828	2.2

②不動産

(A) 概要

不動産販売部門でマンション分譲の減少により減収となりましたため、不動産業全体の営業収益は前年同期に比し1.0%減の20,797百万円となりましたが、営業利益は、不動産販売部門における宣伝費など諸経費の削減により、前年同期に比し96.3%増の1,042百万円となりました。

(B) 営業成績

業 種	単 位	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月～平成24年6月)	
			前年同期比(%)
不動産販売業	百万円	9,631	△4.9
不動産賃貸業	百万円	4,675	1.7
不動産管理業	百万円	7,694	3.4
消去	百万円	△1,203	—
営業収益計	百万円	20,797	△1.0

③流通

(A) 概要

百貨店部門が不採算店舗の閉鎖等により減収となりましたため、流通業全体の営業収益は前年同期に比し3.9%減の92,284百万円となりましたが、営業利益は百貨店部門における不採算店舗閉鎖や前期に募集した早期退職者の退職による人件費の減少などにより、前年同期に比し21.4%増の700百万円となりました。

(B) 営業成績

業 種	単 位	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月～平成24年6月)	
			前年同期比(%)
百貨店業	百万円	66,499	△5.2
ストア・飲食業	百万円	26,078	△1.8
消去	百万円	△294	—
営業収益計	百万円	92,284	△3.9

④ホテル・レジャー

(A) 概要

旅行部門及びホテル部門で、震災発生後の出控えの反動増により、ホテル・レジャー業全体の営業収益は前年同期に比し41.4%増の54,313百万円となり、営業利益は前年同期に比し4,203百万円改善の1,359百万円となりました。

(B) 営業成績

業 種	単 位	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月～平成24年6月)	
			前年同期比(%)
ホテル業	百万円	11,434	17.8
旅行業	百万円	39,804	56.4
映画業	百万円	753	△11.9
旅館・レジャー施設業	百万円	2,320	△3.5
消去	百万円	—	—
営業収益計	百万円	54,313	41.4

⑤その他

(A) 概要

情報処理部門で、システムの開発を新規受注いたしましたため、その他の事業全体の営業収益は前年同期に比し22.9%増の3,533百万円となりましたが、営業利益はケーブルテレビ部門で加入者獲得に係る初期コストの増により、前年同期に比し29.4%減の166百万円となりました。

(B) 営業成績

業 種	単 位	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月～平成24年6月)	
			前年同期比(%)
ケーブルテレビ業	百万円	2,350	7.4
情報処理業	百万円	1,048	87.5
保険代理業	百万円	134	6.9
消去	百万円	—	—
営業収益計	百万円	3,533	22.9

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、流動資産で仕掛品が増加したほか、販売土地及び建物がマンション建築工事の進捗等に伴い増加しましたため、その他に含まれる前渡金の減を差し引き増加し、固定資産で、阿部野橋ターミナルビル整備工事の進捗等による増から、減価償却の実施による減を差し引き増加しましたため、合計では前期末に比し4,861百万円増加しました。負債は、賞与引当金や短期借入金が増加しましたため、未払法人税等の減を差し引き、前期末に比し6,743百万円増加しました。純資産は、株主資本が前期の剰余金処分での配当と四半期純利益の計上を差し引き減少し、その他の包括利益累計額が、持分法適用関連会社の為替換算調整勘定の増により増加しましたため、差し引き前期末に比し1,882百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、平成24年5月11日に公表いたしました予想どおりに概ね推移しておりますため、平成25年3月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想の変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,918	23,661
受取手形及び売掛金	27,139	26,681
商品及び製品	15,464	16,190
仕掛品	1,021	2,804
原材料及び貯蔵品	3,027	3,109
販売土地及び建物	174,756	181,672
その他	63,345	57,333
貸倒引当金	△579	△538
流動資産合計	308,094	310,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	597,984	593,701
土地	655,363	655,440
建設仮勘定	61,710	67,831
その他（純額）	60,831	60,956
有形固定資産合計	1,375,890	1,377,929
無形固定資産		
のれん	3,608	2,926
その他	8,954	8,633
無形固定資産合計	12,563	11,559
投資その他の資産		
投資有価証券	72,585	73,808
その他	70,388	70,154
貸倒引当金	△1,648	△1,639
投資評価引当金	△305	△305
投資その他の資産合計	141,019	142,017
固定資産合計	1,529,473	1,531,507
繰延資産	2,004	2,012
資産合計	1,839,572	1,844,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,818	38,743
短期借入金	290,098	307,628
1年以内償還社債	90,800	97,800
未払法人税等	6,956	4,951
賞与引当金	7,913	12,820
商品券等引換損失引当金	4,048	3,957
その他	149,387	148,189
流動負債合計	587,023	614,091
固定負債		
社債	307,400	290,000
長期借入金	602,667	599,975
退職給付引当金	8,978	9,297
役員退職慰労引当金	134	26
関係会社整理損失引当金	804	804
建物等除却損失引当金	1,181	1,181
その他	139,045	138,600
固定負債合計	1,060,211	1,039,886
負債合計	1,647,234	1,653,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	92,741	92,741
資本剰余金	27,317	27,316
利益剰余金	△13,860	△17,554
自己株式	△1,781	△1,785
株主資本合計	104,416	100,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041	1,068
繰延ヘッジ損益	172	△34
土地再評価差額金	82,371	82,566
為替換算調整勘定	△7,611	△6,218
その他の包括利益累計額合計	75,974	77,383
少数株主持分	11,947	12,354
純資産合計	192,338	190,455
負債純資産合計	1,839,572	1,844,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで)
営業収益	206,568	219,166
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	176,647	183,073
販売費及び一般管理費	23,096	23,086
営業費合計	199,744	206,160
営業利益	6,824	13,006
営業外収益		
受取利息	66	63
受取配当金	241	166
負ののれん償却額	76	—
持分法による投資利益	923	789
その他	830	877
営業外収益合計	2,138	1,896
営業外費用		
支払利息	4,850	4,409
その他	699	862
営業外費用合計	5,549	5,271
経常利益	3,413	9,631
特別利益		
工事負担金等受入額	5,459	6,109
固定資産売却益	—	117
その他	3	39
特別利益合計	5,463	6,265
特別損失		
工事負担金等圧縮額	5,455	6,108
固定資産売却損	11	13
固定資産除却損	41	217
減損損失	—	518
その他	3	230
特別損失合計	5,511	7,088
税金等調整前四半期純利益	3,366	8,808
法人税等	1,105	3,793
少数株主損益調整前四半期純利益	2,260	5,015
少数株主利益	151	251
四半期純利益	2,108	4,763

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,260	5,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△556	108
繰延ヘッジ損益	△47	△280
為替換算調整勘定	89	198
持分法適用会社に対する持分相当額	488	1,086
その他の包括利益合計	△27	1,113
四半期包括利益	2,232	6,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,197	5,978
少数株主に係る四半期包括利益	35	150

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 平成24年度第1四半期 決算補足資料

### 収支比較表《連結》

(単位：百万円)

	当第1四半期累計 (24/6) 実績	前年同期比	
<b>売上高</b>	<b>219,166</b>	<b>12,597</b>	<b>6.1%</b>
運輸	53,828	1,139	2.2%
不動産	20,797	△214	△1.0%
流通	92,284	△3,779	△3.9%
ホテル・レジヤ	54,313	15,895	41.4%
その他	3,533	659	22.9%
調整	△5,590	△1,102	
<b>営業利益</b> (売上高営業利益率)	<b>13,006</b> (5.9%)	<b>6,182</b> (2.6%)	<b>90.6%</b>
運輸	9,713 (18.0%)	1,386 (2.2%)	16.6%
不動産	1,042 (5.0%)	511 (2.5%)	96.3%
流通	700 (0.8%)	123 (0.2%)	21.4%
ホテル・レジヤ	1,359 (2.5%)	4,203 (9.9%)	—
その他	166 (4.7%)	△69 (△3.5%)	△29.4%
調整	24	26	
営業外収益	1,896	△242	△11.3%
営業外費用	5,271	△278	△5.0%
<b>経常利益</b>	<b>9,631</b>	<b>6,217</b>	<b>182.1%</b>
特別利益	6,265	802	14.7%
特別損失	7,088	1,577	28.6%
<b>四半期純利益</b>	<b>4,763</b>	<b>2,654</b>	<b>125.9%</b>

(注) 連結子会社数 48社 0社 (前期末比)  
 持分法適用会社数 6社 0社 (前期末比)

### 運輸成績表《単体》

	当第1四半期累計 (24/6) 実績	前年同期比	
<b>旅客人員(千人)</b>	<b>147,947</b>	<b>△40</b>	<b>△0.0%</b>
定期外(千人)	57,168	1,390	2.5%
定期(千人)	90,779	△1,430	△1.6%
<b>旅客収入(百万円)</b>	<b>36,833</b>	<b>563</b>	<b>1.6%</b>
定期外(百万円)	24,391	822	3.5%
定期(百万円)	12,442	△259	△2.0%